

<2015年G7首脳宣言>

- 平成27年6月に行われたG7で合意された首脳宣言において、海洋ごみが世界的な問題であることが認識された。
- 今後はG7各国が首脳宣言に基づき、4つの優先分野である、陸域に由来する海洋ごみの発生源対策、海域に由来する海洋ごみの発生源対策、海洋ごみの回収・処理活動及び教育・研究・普及啓発活動に取り組んで行くこととなった。

<日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM17)等における取組>

- 平成27年4月の第17回日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM17)では、5ヶ年の共同行動計画において、海洋ごみに関するワークショップを開催し、データの共有、各国の政策や経験に関する情報を交換することが合意された。

<北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)における取組>

- 日本、韓国、中国、ロシアによる海洋環境保全を目的とした行動計画
- 2007年～現在 : 地域行動計画(RAPMALI)
 - ・ 各国政府による海洋ごみに関する情報共有、ワークショップの開催
 - ・ 海岸清掃キャンペーンの実施



2013年国際海岸清掃活動(沖縄県恩納村)